

家きんの所有者の皆様へ

高病原性鳥インフルエンザに嚴重警戒!!

今シーズン、国内では、高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いで確認されています。

来春まで、本病の発生リスクが高い状況が継続しますので、嚴重に警戒し、以下の取組みを徹底してください。

- 人・車両・資材の消毒、野生動物の侵入防止対策等、日頃の飼養衛生管理を徹底し、継続すること。
- 飼養衛生管理については、毎月、自己点検を実施し、不備がある場合は改善すること。
- 日頃の健康観察を徹底し、飼養する家きんにおいて、高病原性鳥インフルエンザを疑う症状を確認した場合、速やかに最寄りの家畜保健衛生所に連絡すること。

高病原性鳥インフルエンザを疑う症状



死亡羽数の増加



沈うつ・産卵率低下



鶏冠のチアノーゼ

- ※ 個体のみならず群として異状の有無を確認してください。
- ※ 特定の場所で固まって死亡していないか確認してください。

高病原性鳥インフルエンザ 消毒・点検強化キャンペーン継続

令和4年
5月まで

**5月までに渡り鳥が再び飛来します!!
消毒の徹底と飼養衛生管理の自己点検を継続!!**

高病原性鳥インフルエンザウイルスは、
渡り鳥が飛来する際に持ち込まれます。
今シーズン、道内では死亡野鳥で本病ウ
イルスが確認される事例が相次いでいます。
これから気温が上がると、越冬を終えた
渡り鳥が営巣地に向けて北上します。
このため、道では、5月頃まで再び渡り
鳥が飛来し、本病が農場へ侵入するリスク
がより一層高くなる季節を迎えますので、
以下の取組みを徹底してください

① 10月頃に越冬のため南下



② 5月までに再び飛来

取組

①



消石灰散布

雪が溶けたら鶏舎周囲に消石灰を散布し、鶏舎の長靴交換・消毒も継続!!

取組

②



防鳥ネット等点検

野鳥が侵入しないよう防鳥ネットを設置し、施設の破損等がないか毎月点検!!